

富士市立高等学校 学校運営協議会		第 3 6 回 会議要旨 (令和 6 年度)
開催日 令和 7 年 2 月 1 7 日 月曜日 開 会 1 4 時 0 0 分 閉 会 1 6 時 3 0 分	会議場 富士市立高等学校 2 階 会議室	
出席者 * 敬称略 【学校運営協議会委員】 井上 淳 井上美千子 久米昭洋 塩田真吾（オンライン） 豊島実侑 橋本 仁 畑 裕美 櫻井祥行 小泉彩子委員、森山裕理委員は所用のため欠席 【市立高校教員】 飯嶋雄三 上野朋子 見城喜哉 石村俊樹 望月佑輔 後藤大輝 佐野大悟 佐藤かおり 杉山秀幸 永井厚史 増田竜一 藤原恵里子 勝又 誠 海野元伸 【市立高校職員】・【市教育総務課】 榎 俊英 吉野正敏 渡邊貴広 滝 陽介 遠藤真輝		
開会		
会長挨拶 ・ 今年 は 厳 しい 寒 さ が 続 い て お り 、 一 時 的 に 和 ら ぐ 日 も あ る が 、 繰 り 返 し 冷 え 込 み が 続 い て い る 。 コ ロ ナ の 影 響 も 依 然 と し て 残 っ て お り 、 先 生 方 に は 健 康 を 最 優 先 に 過 ぎ て ほ し い 。 ・ 本 日 は 年 度 内 3 回 目 の 会 議 で ま と め の 会 議 と な る が 、 学 校 の 発 展 に 向 け て 忌 憚 の な い 意 見 を 交 わ し 、 有 意 義 な 議 論 が で き れ ば と 思 う 。 校長挨拶 ・ 本 校 で は 5 年 ぶ り に 海 外 研 修 を 実 施 し 、 総 合 探 究 科 が マ レ ー シ ア 、 ビ ジ ネ ス 探 究 科 が シ ン ガ ポ ー ル と マ レ ー シ ア 、 ス ポ ー ツ 探 究 科 が 香 港 を 訪 問 し 、 生 徒 た ち は 異 文 化 に 触 れ 、 大 き な 刺 激 を 受 け た 。 準 備 は 大 変 だ っ た が 、 貴 重 な 経 験 と な り 、 異 文 化 理 解 の 重 要 性 を 改 め て 感 じ る 機 会 と な っ た 。 ・ 探 究 発 表 会 で は 2 年 生 の テ ー マ 探 究 で 特 定 の テ ー マ に 捉 わ れ ず 生 徒 の 自 由 な 視 点 で 発 表 を 行 っ た 。 地 域 交 流 で は 吹 奏 楽 部 や チ ア リ ー ダ ー 部 を は じ め 、 外 部 と の 連 携 を 図 っ て お り 、 地 元 メ デ ィ ア に も 取 り 上 げ ら れ て い る 。 今 後 も 地 域 に 還 元 で き る 活 動 を し て い く 。 ◇海外探究研修に関する報告 ①総合探究科 ・ 11 月 30 日 か ら 12 月 4 日 ま で マ レ ー シ ア ・ ク ア ラ ル ン プ ー ル で 海 外 探 究 研 修 を 実 施 し 、 初 日 は 成 田 で 前 泊 し 、 12 月 1 日 に マ レ ー シ ア へ 向 か っ た 。 ・ 12 月 2 日 の 午 前 中 は 現 地 の 高 校 を 訪 問 し 、 数 学 ・ 音 楽 ・ 演 劇 の 授 業 に 参 加 し た り 、 学 食 で の 食 事 や ス ポ ー ツ を 通 じ て 生 徒 同 士 の 交 流 を 深 め た 。 12 月 3 日 に は Taylor's University を 訪 問 し 、 施 設 見		

学や日本人留学生との交流を行い、海外留学を考える生徒も現れるなど良い刺激を受けた。

- ・同日午後はカンボンバルを訪れ、ガイド付きで散策しながら屋台の食べ物を試食した。また、住民の方々の家庭を訪問し、夕食や球技を通じて温かい交流を持つことができた。
- ・最終日は班別研修を実施し、水族館やモスク、ヒンズー教の寺院などを訪れるなど、各班が自主的に活動を行った。生徒が最も良かったと回答した活動はこの班別研修だった。
- ・研修を通じて、生徒は協調性や主体性、チャレンジ精神を育み、英語力の向上も感じた模様。9月のイングリッシュキャンプの延長として、英語を活用した活動に積極的に取り組んだ点が印象的だった。
- ・研修の総合的な評価は9割弱が良かったと回答しており、多くの生徒が貴重な経験を得たと回答してくれた。反省点として、健康管理やパスポート管理の課題があったが、来年度の研修ではこれらを改善し、より良い海外探究研修を目指したいと考えている。

② ビジネス探究科

- ・11月30日に集合し、電子申請後、バスで羽田空港へ移動し、深夜便でシンガポールへ向かった。
- ・現地では両替の実践を行い、その後、大学生と市内を回るB&Sプログラムの実施、マリーナベイサンズの展望台視察や各自での現地の夕食を楽しんだ。
- ・2日目はバスでマレーシアへ入国し、学校間交流やプライ村でのホームステイを体験した。最終日には鹿島建設の研究施設を見学し、班別行動の自由時間を経て、深夜便で帰国した。
- ・アンケートでは、B&Sプログラムでの交流の成長や、学校間交流・プライ村での異文化体験の評価が高かった。鹿島建設の見学も概ね好評で、班別研修も有意義に過ごせたとの意見が多かった。
- ・飛行機移動では、行きは不安な様子の生徒もいたが、帰りは落ち着いていた。研修を通じて多くの生徒が考え方を变え、異文化への理解を深めることができ、今後の海外研修への期待も高まったと感じている。

③ スポーツ探究科

- ・スポーツ探究科は香港で海外研修を実施した。アンケート結果によると、生徒の多くが充実した研修であったと評価している。
- ・研修の主な内容は三点ある。一つ目は、日本では体験できないドラゴンボートなどのスポーツを実際に行い、その歴史や背景を学びながら各自の専門競技にも活かせる点を学んだ。
- ・二つ目は、携帯アプリを活用した文化体験である。生徒はアプリを使ってクイズや謎解きをしながら自ら町を探索し、主体的に異文化を学ぶ機会となった。
- ・三つ目は、現地の高校生との交流である。座学や体育の授業、部活動に参加し、夕食後も買い物やホテルまでの送迎など深い交流を持つことができた。英語を介した対話を通じて、言語の壁を超えたコミュニケーション力が養われた。アンケート結果ではこの活動が一番充実していたとのことだった。
- ・また、初の試みとして羽田現地集合を行い、生徒自身がチケット手配や時間管理を経験したことも良い学びとなった。来年度の研修では、今年の経験を活かし、より良いプログラムを目指したい。

◇令和 6 年度進路状況報告

- ・就職、進学ともに例年並みの内定者、合格者となっている。国公立大学の進学では、共通テストを課す推薦入試で、高崎経済大学、山梨大学に合格している。また、過年度生が静岡大学に合格している。

部活動の近況について

- ・サッカー部はプリンスリーグ 8 位、新人戦で県ベスト 16 だった。
- ・陸上部で小針陽葉（スポーツ探究科 3 年）が日本陸上競技選手権大会 60m で、B 決勝 1 位、総合 8 位、知事褒章も受賞した。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観、海外探究研修に関する質疑応答

（意見・質問等）

・海外研修が有意義な活動であることがデータからも理解できた。実際に海外に出て日本との違いを体験することが非常に大切だと思う。

（意見・質問等）

・授業に関しては本当に落ち着いて集中して取り組んでいると思う。先生方の探究の取組も非常に面白く、先生方が自ら探究している姿を見せるのは生徒にとっても励みになるのでは。

（意見・質問等）

・授業を参観して、何か、お互いに教え合ってる姿とか、自ら発表したり発言している生徒もかなり見られ、良い授業であることが伝わった。

（意見・質問等）

・海外の異文化を体験できるのは非常に良い。学校外に出てそういう経験ができるのは今後の人生にとっても良いこと。

（意見・質問等）

・授業を参観して、この学校は割と教え合う、しかも、共学でも男女分かれてではなく、壁もなく、教え合う良さがある。

（意見・質問等）

・海外探究研修のアンケートで班別研修の評価が良かったとのことだが、何か特別な取組や、先生方の狙いはあるのか？

（回答）

・平たく言うと自由行動時間なので、先生方の縛りもなく自由に計画し、思い出づくりの 1 つとしたいという意図もあるのでそのあたりが高評価につながっているのでは。満足度という意味では来年度以降も必ず実施したいと考えている。

（意見・質問等）

・海外研修について観光とは異なり、実施に現地の人々と交流できることが大切であると思う。観光では距離感は詰まらないが、今回の研修では現地の方と仲良くなったとあり、非常に良い研修だと思う。

（意見・質問等）

・数学の授業で、教え合っている姿を見て、このような授業スタイルが満足度の高さに出ているのではと感じた

（意見・質問等）

・海外探究研修については 30 万円くらい費用がかかるとのことだったが参加率はどのくらいか？

（回答）

・体調の問題で、不参加の生徒が数名いたが、ほぼ全員が参加している。総合探究科で 4 名、それからビジネス探究科で 1 名、不参加だが、金銭的な理由で不参加の生徒は

(意見・質問等)	いなかった。 ・入学前に海外探究研修があるから費用がどの程度かかるか受検生には説明しているのか？
(回答)	・学校説明会の資料の中でどの程度費用がかかるかは昨年度の資料を参考として示している。詳細については、例えば中学生の保護者側から聞かれた際にはお答えしている。
(意見・質問等)	・海外探究研修のアンケート結果として、満足度の低い生徒も若干名いるが、何か原因は把握されているか？
(回答)	・まとめたわけではないが、本当にその活動が嫌で参加しなかった生徒もいなかったの事実であり、ちょっとしたフィーリングだとは思う。
(意見・質問等)	・把握されていれば感覚的なところで全然問題ないと思う。感想になるが、例えば、学校ではなかなか活躍しない生徒がこういうところでは生き生きと活動してるとか、非認知能力は高いという、教員としての掴みがあったのではと思う。
(意見・質問等)	・逆に、そういうところで活躍する、もしくは、ちょっと活躍しきれなくてストレスがある生徒たちには、やはり勉強しないと駄目な部分があると気付いてもらえれば、高校教育として非常に良い。
(意見・質問等)	・廊下で拝見した先生方の探究のプレゼンの掲示についても、国が提唱する、教師の学びと生徒の学びが相似形だということを具現化しており素晴らしい活動かなと思う。
◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について（資料 20 ページから） ・生徒アンケートでは、昨年度よりも数値が上昇した項目がかなり多かった。キャリア教育については 3 年間で大きく上昇している。部活動については中学校の部活動で地域移行が進んでいる点もあるため、在り方については今後検討していきたい。 ・保護者アンケートでも昨年度よりも上昇した項目が多く、特に、部活動指導や、教職員と保護者との信頼関係について上昇している。 ・教職員のアンケートでも昨年度より上昇した項目が多いが 14 番については低下しているので対応していきたい。 ◇学校経営報告（学校評価）について（資料 24 ページから） ・要点を絞って説明をさせていただく。生活習慣の確立で朝読書について評価は目標未達のため C となっているが、肌感覚では遅刻そのものは去年よりかなり減少していると感じる。個人的には B 評価でも良いのではと思う。 ・学校の安心安全で交通指導については、自転車に乗り慣れていない生徒も多く、C 評価でも仕方がない面もある。教員からの伝え方もあると思うが、生徒自身が、内発的に啓蒙できるようなことをしていかなければいけない。 ・「イ」の英語資格・検定試験については、多くの生徒に受験してもらいたいということで先生方にも声掛けをしてもらった。特に海外研修に行って戻ってきた生徒が英語に目覚めたりとそういう面も踏まえると評価は C だが B でも良いのではと思う。 ・学習習慣の確立については毎年、課題として挙がるが、例えば 1 年部が廊下に目標を掲示したり、C	

ラーニングという連絡アプリに学習時間を入力させたりと何か学習を促すような取組をしている。 家庭学習については評価の方法についてももう少し良い形を考えたい。 ・PTA や、地域との連携については、地域交流課をはじめ、授業や部活動でも積極的に交流をしている。例えば、くふうハヤテベンチャーズやベルテックス静岡との連携など広範囲に行っている。 ・中学校での説明に関しても若手の教員が行うことで中学校側の評判も良いこと、教員自身のプレゼン能力の向上にもつながるため引き続き継続していく。	
質疑応答	
(意見・質問等)	・「ア」の生活習慣の確立について、朝読書について 3 年生の 2 学期は 87%も遅刻をしていない。これは高校生にとっては充分ではないか。先ほどの話ではないが、C でなくても良いと思う。
(意見・質問等)	・私も B で良いと思う。何かしら体調不良でという生徒もいると思うので、それを踏まえると C ではなく B が妥当。体調不良者等は含めているのか？
(回答)	・体調不良者も含まれている。メンタルの問題でもちょっと遅刻をしてしまう生徒もあると思う。
(意見・質問等)	・誤差の範囲内だと思うが、2 年生の数値が若干、低いが何か理由はあるか？
(回答)	・気持ちの面で不安定な生徒が多い学年かもしれない。他学年と比べても遅刻する生徒が多いのも事実だが、事情を抱えている生徒もいるので…。変にせかして事故につながっても困るので強くは指導していない。
(意見・質問等)	・評価について、ブレがあるように思う。項目をクリアしたら A なのか、項目に届かなかったら B なのか C なのか、その辺は統一できれば良いのでは。統一した見解で考えると朝読書については B で良いと思う。
(意見・質問等)	・朝の街頭指導について、自転車通学のヘルメットの着用状況はどうか？
(回答)	・しっかりとしたデータを取っているわけではないが、実際に着用しているのは 2 桁に届かないのではと思う。
(意見・質問等)	・道路交通法では努力義務になっているのもあるが、大きな事故の際にヘルメットを着用していたおかげで大事に至らないケースもあると思うので、そこも指導してもらいたい。
(意見・質問等)	・中学校では自転車通学の生徒はヘルメット着用が条件となっている。高校生だとしても命の重さと比較すれば促していくべきではと思う。
(意見・質問等)	・交通指導カードの件数が 43 件から 131 件に増えている要因は何か？
(回答)	・個人的な感想ではあるが、データの取り方に問題があると思う。カードの集計の仕方というか、報告の基準が担当者によって異なることもあると思う。そのあたりは報告するレベルを統一していこうと話している。今年が多いのではなく、多分、毎年、このくらいの件数ではないか。
(意見・質問等)	・件数も多く、命に関わることでもあるので、生徒が自らルールを考えるような場みたいな、まさに探究的なところで、この課題を生徒が真摯に捉える活動があっても良い

	と思う。
(意見・質問等)	・評価の方法だが、成果目標が昨年度より減というのは、次年度の評価が厳しくなってしまう可能性もあるので、件数でみた方が良い。評価自体はこれだけみると交通指導についてはCになるのは仕方ないと思う。
(意見・質問等)	・純粹に事故にならないように指導をしてもらえればと思う。ルール作りというか制度に促すようなことができれば非常に良いが、評価自体はCということにさせていた
(意見・質問等)	・職員健康増進がAになっているが、さきほどの教職員アンケートからは副担任の先生は早く帰ることができ、担任の先生は昨年より遅くなっていることが読み取れる。もしかしたら担任の先生の負担は増えているのでは？
(回答)	・時期的な問題もあると思うが、どうしても担任の先生が遅くなってしまう時期や、他の先生に協力してもらった場面とか年間を通して出てきてしまう。個々にはあるかもしれないが全体としてはA評価としている。
(意見・質問等)	・中学校では残業を月45時間以内に収めるようにして実際の平均が32時間程度。部活動も勤務時間の中で収めているので大体、18～19時には退勤している先生方が多い。
(意見・質問等)	・先生方が疲労を溜めているような感じでもないということか？
(回答)	・業務の内容と質によっては負担を感じている先生もいるかもしれないが、教員数も県立と比較して多く、例えばクラスも3人体制で指導している。その辺、上手く横との連携で業務をやってもらえていると思う。
(意見・質問等)	・「イ」の英語試験については、受験することがゴールではなく、多文化に触れて英語の楽しさに気付いて学習意欲が向上していく部分が重要だと思う。海外探究研修の話でもあったが、そこから海外留学等へ広げていく機会を増やすことが大切。
(意見・質問等)	・大学でも海外交流センターがあり、手続きに関してはそこから業者へ繋いでくれている。高校でもそういった業者に繋ぐことだけでもできれば留学の機会も増えるのではと思う。
(意見・質問等)	・大学生でも海外留学後に語学に目覚め、自主的に英語のアプリで会話をする学生がいる。高校でも留学の情報を生徒に伝えていくことが生徒の可能性を広げることになる。英語試験についてはC評価となっているが、B評価で良いのではと思う。
(意見・質問等)	・「ウ」の学習習慣の確立について、週に5日以上、家庭で学習する生徒の中には、図書室や塾での学習時間は含まれるのか？
(回答)	・学校評価アンケートでも学校での宿題、予習復習、塾での学習、土曜学習等としており、含まれている。
(意見・質問等)	・評価は厳しいように思うが、何か学校での声掛けなど取組について指導していることはあるか？
(回答)	・例えば、1年生の学習時間が増えない理由の1つとして、進路の目標が定まっていな

	いということがある。土曜講座において、卒業生に講演をしてもらうなどによって将来像が何となく見えてきたということで、勉強時間が少しずつ増えてきた。また、テスト前に教室を自習室として開放している取組もあり、参加生徒も増加傾向にある。一方で、テスト期間が過ぎると家庭学習時間が大幅に減ってしまう点で、その辺の対策はまだまだ足りないと思う。
(意見・質問等)	・週 5 日以上家庭学習をしている生徒の割合は低いが、学校での学びをきっかけにさらに学びたいという生徒の数値はむしろ良くなってきている。単純に結びつくわけではないと思うが、もう少しやってみたいが、やり方がわからない、根気が続かないなどの理由が考えられるのでは。このあたりの認識は何かあるか？
(回答)	・部活動と自宅での勉強の兼ね合いに悩んでいる生徒もおり、勉強したい気持ちはあるが、帰宅すると疲れてできないという側面も関係しているように思う。
(意見・質問等)	・例えば、学校の隙間時間で勉強ができたり、時期によっては教室を開放してもらうとか、少しずつ、学習時間を増やすようにしていけばよいと思う。
(意見・質問等)	・例えば、何分だったら各学年の学習時間の平均が 50%を超えるのか？
(回答)	・1 年部はクラスでの平均値を教室掲示しているが、今週辺りでは 40～50 分がクラスの平均値だと思う。
(意見・質問等)	・それであれば、もう少し低めの目標設定にしても良いと思うが、90 分を目標にしている根拠はあるのか？
(回答)	・もともとが 120 分という高い数値だったのが、段々少なくなり、90 分という形で現状は落ち着いている。
(意見・質問等)	・もう少し、実態に即しても良いと思う。ちょっと頑張ればと思える数値を出しても良い。今回の評価とは関係なく、その後の指導の問題だと思うが、まずは 1 時間頑張ろうみたいな話しでも良いかもしれない。
(意見・質問等)	・評価については、時間という実数の側面と、勉強の習慣付けという側面があると思う。その辺、期待を込めて生徒にも頑張ってもらおうということで、C 評価のままで評価したい。
(意見・質問等)	・「工」の領域について、地域との連携は非常によくやっている。近くに中学校とも色々連携していたり、実績は素晴らしい。
(意見・質問等)	・大学の授業でプレゼンやグループディスカッションが多いが、高校生のうちに基礎的なことを学んでいたのも、高校時代の経験が良い経験になったと感じることが多い。逆に他校出身の学生は、その辺、大学での授業が難しいと考える学生も結構いる。
(意見・質問等)	・「オ」について、校内設備については何か改善したい部分や改善途中のものはあるか？
(回答)	・昨年から ESCO 事業を行っており、主に証明の LED 化や空調の更新をしている。今年度中工事をしていたため、電気使用量の削減等は難しかった。来年度は達成できる

(意見・質問等) (回答) (結論)	見込み。 「オ」の未対応部分については今後、対応する予定があるのか？ ・12月までの執行状況を記載させてもらっている。指摘を受けている箇所については3月末までに対応していく予定である。 ・学校から提示された評価について「ア」生活習慣の確立については評価CからBに変更する。 ・「イ」英語資格については評価CからBに変更する。 ・上記変更をもとに、学校の評価を承認する。 ・本日出された意見を令和7年度の学校経営計画の参考にしていただきたい。
閉会	